



香住ヶ丘ゾーン

KASUMIGAOKA

香住ヶ丘ゾーンには、エコパークゾーンの中でも珍しい磯浜が広がっており、イソガニなど磯浜特有の生きものが見られます。そして背後には、照葉樹林しょうようじゆりんが広がる牧の鼻公園などの緑地があり、緑あふれる景色を楽しむことができます。香住ヶ丘海岸の一部については、海岸に親しんでもらえるよう、階段式の自然石を使った護岸と遊歩道を整備しています。

また、アイランドシティでは人が海とふれあいやすいように階段式の護岸を整備しており、市民憩いの散策路になっています。

水辺と緑に親しむゾーン



【この地域への交通アクセス】

- 「牧の鼻公園」へは
 - ・西鉄バス「牧の鼻公園前」下車 すぐ
 - ・西鉄貝塚線「香椎花園前」下車 徒歩約15分
- 「香住ヶ丘海岸」へは
 - ・西鉄バス「香住ヶ丘五丁目」下車 徒歩約3分
 - ・西鉄貝塚線「香椎花園前」下車 徒歩約15分
- 「アイランドシティの外周緑地」へは
 - ・西鉄バス「アイランドシティ中央公園前」下車 徒歩約8分

香住ヶ丘ゾーン遠景 あいたか橋より撮影



アイランドシティの外周緑地（対岸は香住ヶ丘海岸）



牧の鼻照葉樹林



香住ヶ丘海岸に広がる岩礁帯



1 香住ヶ丘海岸に広がる岩礁帯



香住ヶ丘南側の岩礁帯



牧の鼻周辺の岩礁帯

岩礁は、満潮時には周りが海に囲まれて、他の動物から襲われにくくなるため、鳥にとって貴重な休息場となっています。

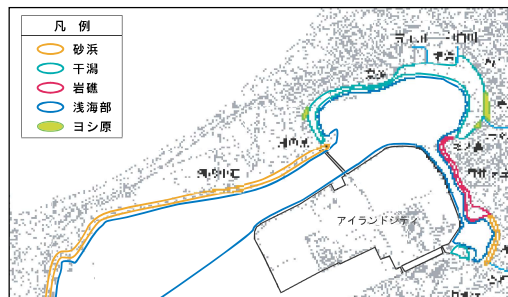


岩礁で休息するチュウシャクシギなどの野鳥



エコパークゾーンの海岸環境

エコパークゾーンには、干潟や砂浜、岩礁などの変化に富んだ自然海岸が残っており、多様な生態系をはぐくんでいます。



クイズ 隠れた鳥を見つけてみよう！

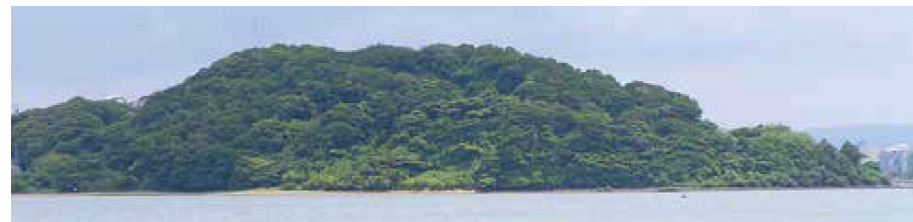
岩肌と似た色の小型の鳥は、上空から襲ってくるハヤブサなどから身を隠すため、身動きせずにじっとしています。

右の写真には何羽の鳥がいるか分かりますか？

正解は21ページを見てね！

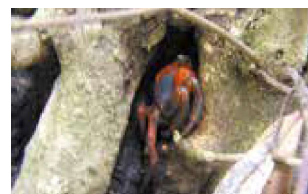
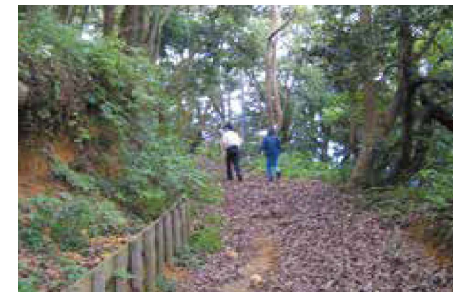
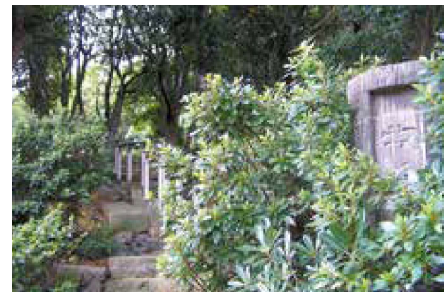


2 牧の鼻照葉樹林



牧の鼻公園一帯は照葉樹林地となっており、海から牧の鼻の高台まで緑がつながっています。一部は特別緑地保全地区にも指定されています。

このような海岸の斜面にある森林は、海面に森林の影が映ることなどにより魚が集まる効果があり、“魚付林”^{うおづまりん}と呼ばれています。



木の根元に潜むアカテガニ

牧の鼻の高台が「牧の鼻公園」です。公園に入ると、360度緑に囲まれるため、海の近くにいることを忘れそうになりますが、アカテガニが土手の巣穴や木の根元などに潜んでおり、海に近いことを思い出させてくれます。



ハマボウの木

海辺にはハイビスカスの仲間のハマボウも自生し、7月には美しい花を楽しませてくれます。



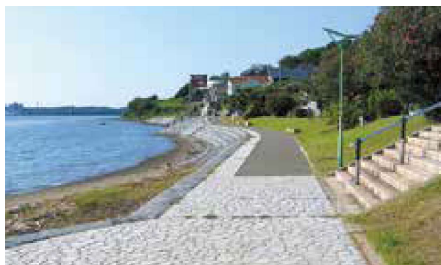
3 香住ヶ丘緑地



香椎海岸のすぐそばにある濃い緑の塊が香住ヶ丘緑地です。ここも牧の鼻と同様に特別緑地保全地区に指定されています。

また、緑地の一部には、遙か太古をしのばせる地層の模様があらわれているところがあります。

4 香住ヶ丘海岸の親水護岸



遊歩道脇にあるハクセンシオマネキの石像

斜面が崩落していた一部の海岸では、安全性を高めるとともに、海岸に親しんでもらえるよう、階段式の自然石を使った護岸と遊歩道を整備しました。整備後には、磯遊びや潮干狩りをする人も見られるようになりました。

香住ヶ丘海岸



整備前



整備後

木杭等で崩落を防止していた海岸線

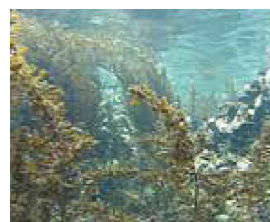
人が海とふれあえて見た目も美しい海岸線

5 アイランドシティの護岸

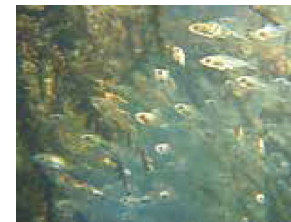
アイランドシティには、生きものに配慮して自然石を積み上げた緩やかな傾斜の護岸や海辺に下りられる階段式の護岸を整備しています。



アイランドシティ外周の護岸には、ワカメやタマハハキモク等の藻場が広がり、タコや魚など多様な生きものがすんでいます。



タマハハキモクの藻場



藻場に集まる稚魚



タコも見られます



藻場の役割

藻場は、魚などの産卵場や稚魚の隠れ場になるなど海の生きものにとって重要な環境となっています。

また、酸素の放出や二酸化炭素の吸収、炭素の貯留、海の水質や底質の改善などの機能もあります。

P18クイズの答え 4羽

